

SERI NEWS RELEASE

平成 23 年 5 月 24 日

財団法人静岡経済研究所
理事長 古知弘行
〒420-0853 静岡市葵区追手町 1-13
アゴラ静岡 5 階
TEL054-250-8750
FAX054-250-8770

2011 年ゴールデンウィーク動向調査

～大型イベントの中止が響き、人出は前年比△44.7%と大幅減～

担当：齋藤 衛

大型イベントの中止が響き、人出は前年比△44.7%と大幅減

二〇二一年ゴールデンウィーク動向調査

◆今年のゴールデンウィーク期間中（4/29～5/8）に、静岡県内各地で行われたイベントや主要観光施設244カ所の人出の合計は、延べ379万人、前年比△44.7%と大きく減少した（前年実績：延べ620万人）。

◆イベントや施設の動向（人出）は以下の通りである。

- ①イベント、祭り（33先）…………… 73万人（前年比△81.7%）
- ②アミューズメント施設、参加・体験型施設（98先）…233万人（前年比△14.6%）
- ③動植物園、水族館（23先）…………… 35万人（前年比△ 0.9%）
- ④博物館、美術館、歴史資料館（53先）…………… 20万人（前年比△13.2%）
- ⑤日帰り温浴施設（37先）…………… 18万人（前年比△ 4.1%）

◆今回の調査では、来場者の消費金額（客単価）が「増えた」（29.6%）とする回答が「減った」（18.0%）を上回っており、消費マインドに復調の兆しも見られる。また、観光需要の回復時期については、「今年中」が6割を占めたものの、「来年中」（27.8%）、「再来年以降」（14.8%）とする慎重な見方も少なくなかった。



▲つつじの見ごろを迎えた
小室山公園



▲大勢の親子連れで賑わった
修善寺虹の郷



▲蓮華寺池公園で開催された
藤まつり

写真提供：社団法人静岡県観光協会
財団法人伊豆市振興公社
藤枝市

震災から間もなく、人出は大幅減、東・中・西部地域とも前年割れ

3月11日に発生した東日本大震災は、直接的な被害を受けなかった県内観光地にも大きな影響を与えたようである。震災から2カ月足らずで訪れた今ゴールデンウィーク（以下、GW）の人出は、大型イベントの中止や全国的な観光自粛ムードを受けて大きく減少し、過去に例のない厳しいものとなった。

今年のGWは、間に5月2日（月）と6日（金）の平日が入る飛び石連休となり、期間は4月29日から5月8日と、昨年（4月29日から5月9日）より1日減って10日間であった（図表1）。なお、静岡市におけるGW中の天候（静岡地方気象台発表）は、5月1日に雨となったものの、おおむね好天に恵まれた。

静岡県内のGWの主なイベントや観光施設など244カ所の人出は、延べ379万人、前年比△44.7%と未曾有の減少となった。（前年は延べ620万人、中止イベントを除く施設・イベントの前年比は△15.5%、詳細は7頁付表参照）

地域別では、東・中・西部いずれも前年を下回った。とくに西部地域では、昨年170万人を集客した「浜松まつり」が中止となった影響により、人出は前年比△71.0%と大きく減少した。また、中部地域でも、「シズオ